

ケータイ・スマホのトラブルから子どもたちを守る

高松市立香南小学校

LINEトラブルをテーマに劇づくり

日常、起こりうる小さなトラブル。それをヒントに6年生が劇づくりに挑戦しました。

劇のあらすじは、LINEを楽しんでいた仲良しグループに、ささいなことで亀裂が生じ、「LINEはずし」から学校でのいじめへと発展します。それを止めようとした子もいじめの対象にされるといふ深刻なものです。



熱演する6年生

「なぜ、こうなってしまったのか」「どうすれば良かったのか」クラスで何度も話し合い、先生と一緒に台本を練り上げていきました。

「子どもたちは、『この劇を通して、LINE いじめの怖さを伝えたい』という強い思いで、真剣に練習に取り組みました。」と、指導した先生は話します。

保護者や地域の方々を招いた発表会で、子どもたちの大きな声が体育館全体に響きわたりました。

劇のクライマックスは、子どもたちが後悔の言葉を連ねる場面。

《LINEグループを作ったら、もっと仲良くなれると思っていたのに。》

《LINEだと顔が見えないから、つつい言葉がきつくなって。》

《相手を前にしたら、絶対に言わない言葉なのに。》

《既読スルーされると、無視されたようで腹が立ってくるんだよね。》

《今の私たちは、まだLINEをしない方がいいね。》

「彼らなら、将来、スマホの上手な使い方を見つけてくれるだろうと期待しています。」と、6年団の先生方は話してくれました。